エクサインターナショナル

MA室を更新しニーズに対応

4K化、収録ブースを整備

エクサインターナショナル（東京都港区）は、MA室の機材を更新し運用を始めた。同室は2009年、東京・恵比寿から移転した際に設立し、企業VPやCM、パッケージ用製品の音響を制作している。

今回の改修では、現在求められている制作効率の向上やワーク映像の4K化など、ユーザーニーズへの対応を目指した。

メインシステムは、従来のミキシングコンソールから、アビッドのコントロールサーフェス「S6」（M40、16フェーダー、5ノブ）に変更。DAWによる操作の比重が高くなってきたことに合わせた。あわせてDAWは他スタジオと互換を取れるよう最新の「プロツールス12」を入れた。

キーボードは、従来同様に卓正面とミキサー卓の隣という2カ所に設置し、ワンマンでも作業しやすい。モニターコントローラーはCBエレクトロニクス「TMC−1」とした。

MAグループの南石和紀氏は、「音を通すものはプロツールスだけとした。コントロールサーフェスにしたことで操作の制限がなくなり、状況に合わせたより柔軟な制作工程を採ることが可能になった」と話す。

卓や外部機器を使って独自に設定するよりも、プロツールスだけで内部処理したほうが、改訂作業や他スタジオとのやりとりがしやすいことや、サラウンド音響の業務に対応しやすいことも挙げている。

音声入出力は、1台で64chをまかなえる「プロツールス−MTRX」とした。DAD社の「AX32」OEM製品で、AD／DA変換やAES、SDIルーティングを1台に組み合わすことができる。

南石氏は、「従来、I／Oシステムを複数台用意していたが、MTRXによりスペースを削減できた。アビッドから発売されたことでメンテナンスなどの安心感も向上し、導入を決めた」と理由を説明する。

音響効果制作用のスペースを拡大するなど、協力スタッフの作業のしやすさも向上した。選曲用のCDプレーヤーを移動し、プロツールスと操作パネル「アーチストミックス」を設置した。

また、インタフェースにアビッド「DNxIQ」を導入し、映像システムに「ビデオサテライト」を採用した。

これにより、素材共有サーバー「NEXIS PRO」を介して、編集室で仕上げたデータを迅速に利用できる。「テープからの立ち上げ時間を省くことにより、作業の効率化が可能になった」（同氏）という。

MA室とサーバーとの間は10ギガビットイーサネット回線で接続し、4K映像を作業に使うことも可能となった。同社では、17年初めに更新した編集室も4Kに対応しており、これにより、編集からMAまでを4K制作することが実現した。

さらに、現在需要が増えているアニメや洋画のアフレコに対応しやすいよう設備を整備した。

アナウンスブースでは3つあるモニターをいずれも32型に置き換えた。現在のアニメの制作では、映像が出来上がる前の下絵を見ながらセリフを収録することが多く、セリフのきっかけとなる字幕をはっきりと見たいという声に応えた。

ブース内には広角レンズのカメラを設置し、コントロール室から様子を確認できる。隣接するロビーのモニターにはトークバック音声を送り、待機する演者が収録の状況を把握することができる。マイクプリアンプも、アフレコスタジオで多く使われるものを増設していく。

MA室

南石氏㊨とアシスタントの星野氏

通常のナレーションに加えアフレコにも対応する

プロツールス-MTRX

ロビー

ロントラ

VR動画サイトを開設

自治体の地域訴求を支援

制作会社のロントラ（東京都渋谷区）は、国内外の360度動画を集めたウェブサイト「360° MOVIES」（http://360movies.lontra.co.jp/）を開設した。

同社は、自治体によるVRを使った地域訴求「VRPR」の支援と市場拡大を目指している。

VRと自治体に着目した理由について担当者は、「VRは現在、ウェブサイトでの視聴環境が充実しているが、技術や機能訴求を中心とした情報展開が多く、視聴者目線はわずかだ」とする。また、話題性があるにもかかわらずVR動画を採用している自治体は少なく、かつ動画の活用の場面も限られていることから、「地域の魅力を視聴者目線で発信する旅番組制作のノウハウを生かせる」として事業を開始した。

サイトは、自治体が採用した事例を集めた「City Promotion」、場所や観光に焦点を当てた「Spot」、実験的要素を含んだ事例の「Variety」の3つで構成。クリエイターとのネットワーク構築やVR動画の人気や動向を探るテストマーケティング、自治体などへのメディア提供を行う。

今後は、東海4県を重点ターゲットとした「TOKAI DIVE 360°」と題するプロジェクトを実施。「VR動画制作と広告配信、メディア運営、イベント活用によるPR活動をワンストップで提供し、シティプロモーションにつなげる」としている。

これまでには静岡県小山町、岐阜県がVRPR事業を採択している。

ウェブサイト

※新発売　マルチモニターウォール cyberWALL

大規模なモニターウォールから小規模なモニタースタンドとしてもご採用いただけるマルチなモニターウォールです。
設置されるロケーションやご要望の仕様に合わせてレイアウトすることが可能なため　放送局・データーセンター・証券・セキュリティなどの環境監視用から企業向け会議室・教育現場などあらゆるシーンに対応可能です。

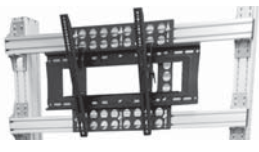
スタンダードモデルから8Uストレージキャビネット搭載モデルの2タイプよりお選びいただけます。
※転倒防止のため、アンカーボルト施工をしてください。
もちろん、弊社にて設置作業も承ります。

8Uストレージキャビネット搭載モデル

※19インチラックマウント機構を備えたストレージキャビネットです。
※キャビネットのキャスター仕様も対応可能です。

スタンダードモデル

モニター壁掛け金具
上下調整プレート付き



【構成品】

ケーブルマネジメント

あらゆるソリューション設備（医療／教育／映像／音響／情報）の筐体開発・設計・販売・施工
ニッキャビ株式会社　〒211−0051川崎市中原区宮内2−5−8　TEL:044−766−2111 FAX:044−777−9000　E-Mail:niccabi@niccabi.co.jp　URL:http://www.niccabi.co.jp
ISO 9001 ISO 14001 BUREAU VERITAS Certification　UKAS

多目的簡易ブース（アナウンス・編集・MA）

あなたのオフィスがスタジオに〜

安　安価
簡　簡単設置
短　短期で施工

●サイズはフレキシブル（設置場所に対応）
●解体・移設も可能
●遮音性能 Dr40

映像スタジオ施工
MA室 ブース 各種 編集室 注文制作家具

Takahashi Construction Co., Ltd. SOUND PROOF
〜映像・音響専門
SINCE 1979〜

一級建築士事務所
高橋建設株式会社
本社 〒216−0032 神奈川県川崎市宮前区神木1−7−8
TEL044-853-0547 FAX044-852-1588
（社）日本ポストプロダクション協会会員／（社）日本音楽スタジオ協会会員
（社）日本音響学会会員

デジタル映像環境に対応、直営システムに依る徹底したコストダウン

映像・音響・防音
プランニング・施工

http://www.takahashi-kensetsu.co.jp
info@takahashi-kensetsu.co.jp